

第10回世界水フォーラムへの参加と 世界湖沼デーについて



第10回世界水フォーラムの 結果概要と「世界湖沼デー」

① 第10回世界水フォーラム

■ テーマ: 繁栄の共有のための水

(Water for Shared Prosperity)

■ 時 期: 2024年5月18日(土)～5月25日(土)

■ 開催地: インドネシア・バリ島

■ 主 催: 世界水会議、インドネシア政府

■ 参加国・人数: 160カ国、64,000名

- ✓ 3年に1度の開催。
日本(滋賀県、京都、大阪)では2003年に開催。
- ✓ 世界中の水に関する関係者が一堂に集い、水と衛生に関わる様々な問題への対処について議論。
- ✓ 第3回の日本開催を契機に参加国数、参加者数が増え、注目度が高まった。
- ✓ 次回の開催は、2027年(令和9年)にサウジアラビアで開催予定。

【開催状況(開催地・参加国・参加者数)】 (主催者発表)

第1回(1997)	モロッコ	63カ国	500人
第2回(2000)	オランダ	114カ国	5700人
第3回(2003)	日本	183カ国	24000人
第4回(2006)	メキシコ	168カ国	19700人
第5回(2009)	トルコ	192カ国	30000人
第6回(2012)	フランス	173カ国	35000人
第7回(2015)	韓国	168カ国	40000人
第8回(2018)	ブラジル	172カ国	10000人
第9回(2022)	セネガル	(未発表)	
第10回(2024)	インドネシア	160ヶ国	64000人
第11回(2027)	サウジアラビア		



ハイレベルパネル13「湖沼のための緊急要請」

- ✓ 三日月知事がインドネシア政府から招待されて登壇し、琵琶湖の経験やMLGsを発信
- ✓ 「世界湖沼デー」制定の意義を呼びかけ



湖沼管理に関するスペシャルセッション11

- ✓ 山本琵琶湖保全再生課長がインドネシア政府から招待されて登壇し、琵琶湖の経験やMLGsを発信
- ✓ 「世界湖沼デー」制定の意義を呼びかけ



自治体プロセス等でのMLGsの発信

- ✓ MLGsが先進的なローカルSDGsモデルとみなされ、国連地域開発センターから三和理事員が招待されて登壇し、MLGsを発信。



テーマ別セッションでの滋賀県の実践の発信

- ✓ 久岡下水道課長が下水汚泥の有効活用に関する口頭発表を行うとともに、パネルディスカッションに登壇。



日本パビリオンにおけるブース出展等

- ✓ 滋賀県ブースの出展のほか、パビリオン内のイベントスペースでプレゼンを実施(4回)
- ✓ 会場内のモニターで滋賀県作成の取組紹介動画を放映
- ✓ しが水環境ビジネス推進フォーラム会員企業(2社)とともに情報発信



第10回世界水フォーラムの 結果概要と「世界湖沼デー」

② 「世界湖沼デー」制定に向けて

■ 「世界湖沼デー」とは

- ✓ 地球上で、人間が利用可能な淡水の約90%が湖沼に貯留されているため、湖沼環境を守ることは、持続可能な社会の実現のために必須であり、そのためのシンボルとして国連が定める国際デーとして、「世界湖沼デー」の制定を目指している。

■ 候補日:8月27日 (インドネシア政府が各国に提案中)

- ✓ 滋賀県が主催した第1回世界湖沼会議(1984年)の開会日

■ 「世界湖沼デー」制定に向けた国際的な動向

- ✓ 第10回世界水フォーラムで採択された閣僚宣言において、「世界湖沼デー」制定に向けて国連プロセスへ進むことが明記された。

■ 「世界湖沼デー」制定に向けた国内的動向

- ✓ 2024年の国連総会において「世界湖沼デー」の制定が実現するよう、日本政府(外務省、国交省、環境省)へ政府提案・要望を実施(R5.10月~R6.6月)
- ✓ 国内自治体に対して、「世界湖沼デー」制定に向けた賛同の呼びかけを実施(R5.12月~R6.6月)

□ 第10回世界水フォーラムでの本県の取組



- ① 姉妹友好州と共同で「世界湖沼デー」制定を呼びかけるポスターを作成し、発信
- ② 講演の機会を通じて、参加者へ「世界湖沼デー」制定に向けた協力の呼びかけ
- ③ 「世界湖沼デー」制定に携わっているインドネシア政府・大臣と面会し、連携関係を構築



□ 第10回世界水フォーラム閣僚宣言(仮訳抜粋)

- ✓ 「世界湖沼デー」制定について各国閣僚間で合意された

5. 水の利用可能性とアクセシビリティに貢献する重要な水資源としての天然湖沼・人工湖沼の役割を強調するため、**国連プロセスにおいて「世界湖沼デー」を提案する。**

□ 春の政府提案・要望での外務相への表敬訪問



- ✓ 外務省 上川陽子外務大臣に三日月知事が面会し、「世界湖沼デー」制定に向けて協力を要請
- ✓ 上川大臣から、国内関係省庁及び滋賀県と緊密に連携していく旨が述べられた